第 99 号

東稲ニュース

早稲田大学校友会東久留米稲門会

平成３０年　３月１０日発行
発行責任者　高橋 哲男
編集責任者　小山田朋樹
E-mail:bente-takahashi@jcom.home.ne.jp
http://higashikurume-toumonkai.com/

東久留米稲門会第 24 回定時総会のご案内

東久留米稲門会　会長　高橋 哲男

春まだ浅く、寒さの名残りが感じられる日が続きますが、皆様にはお元気にお過ごしのことと存じます。日頃、東久留米稲門会にご支援、ご協力をいただきましてありがとうございます。来る 4 月 22 日(日)に「第 24 回定時総会」を開催いたします。昨年は、近隣の稲門会と同様に定時総会から始めましたが、会の運営上不都合な面もあったので「文化講演会」から始めさせていただきます。多数の皆様のご出席をお待ちしております。

尚、総会出欠ハガキのお誕生月欄につきましては、実施を検討していますお誕生会や米寿ないし卒寿のお祝の資料とさせていただくためのものです。個人情報ですので任意ですが、宜しくご協力お願い申し上げます。

また、早稲田大学校友の皆様には、毎年この時期に「東稲ニュース」にてご入会の案内をさせていただいておりますが、東久留米稲門会は、早稲田出身の約 150 名の会員からなる地元での親睦会です。趣味や運動で楽しむことや偶には酒席で交流する気楽な会です。是非、一度体験なさってください。

ホームページからもアクセスできますので閲覧をお勧めします。

第 24 回文化講演会・定時総会・懇親会のお知らせ

日　　時　：平成 30 年 4 月 22 日（日）　午後 2 時 00 分
場　　所　：成美教育文化会館　1 階　ギヤラリー
　　東久留米市本町 8-14　TEL042-471-6600
文化講演会　：午後 2 時 00 分
　　八重樫幸雄氏
　　演題『ヤクルト一筋 47 年～野球は人を育てる』
定 時 総 会　：午後 3 時 40 分
　　議題　平成 29 年度事業報告
　　平成 29 年度収支報告　同会計監査報告
　　平成 30 年度事業計画
　　平成 30 年度収支計画
懇　親　会　：午後 4 時 45 分　　3 階大研修室　　会費　3,000 円

＊校友の皆様へ　　東久留米稲門会　入会のお勧め

東久留米稲門会は、今年で 24 年目を迎え、当会の各行事、各部会・サークル活動が活発に行われております。「東久留米稲門会に入って良かった！稲門会は面白い！」という声が多くの会員から聞かれるのは次のようなことからです。

＜1＞　地元で同窓の友人ができる。
＜2＞　部会、サークルが多くあり、同じ趣味を持つ人と仲間になれる。
＜3＞　新年会、総会懇親会、秋の旨いもの会では、飲食の中で親交を深められ、早稲田の校歌を全員で歌うことができる。

早稲田は一生楽しめます。地元同士のお仲間になりませんか。校友の皆様のご入会を心からお待ちいたしております。

会員になると・・・　東久留米稲門会の会員として登録され、奇数月 10 日発行の「東稲ニュース」及び各部会の案内チラシが各地区のポストマンより宅配されます。毎年 7 月に発行する新年度会員名簿（規約、弔意規定含む）が配付されます。また当会主催の総会、秋の旨いもの会、新年会の案内の他、太極拳、囲碁、俳句、書道では、同趣味の仲間と親睦を深め、技量の向上も図られます。女性、ウオーキング＆山歩き、ゴルフ、グルメ、郷土研究、カラオケ、旅行、早慶戦観戦、ラグビー観戦、芸術鑑賞、バドミントン及び映画鑑賞会に何時でも参加できます。

＊会員の皆様へ　東久留米稲門会　会員継続のお願い

平成 30 年 4 月より、新年度になります。平成 30 年度(平成 30 年 4 月より 1 年間)も引き続き東久留米稲門会の会員継続をお願いいたします。また、早稲田大学校友会員を中断している、あるいは未入会の方、**次代を担う早稲田大学奨学生を応援するため、校友会への入会をお願いします。**
（校友会会費振込用紙同封）

＊年会費の振込手続

年会費は 3,000 円です。同封の払込取扱票(青色)を使用して最寄りの郵便局から 5 月末日までに、お振込みください。なお、総会にご出席の方は受付の際 3,000 円をお支払いいただく方法もございます。(郵便局の窓口での支払いは送金手数料が 130 円かかります。なお 12 頁「東稲広報室」に、郵貯ＡＴＭを使っての無料口座間振替の方法をご案内しております)

＊総会出欠返信用はがき

同封のはがきに出欠の他、必要事項をご記入の上、4 月 6 日(金)までにご投函くださいますようお願いいたします。

会の告知板

【部会予定】

3 月 19 日(月)	ｳｫｰｷﾝｸﾞ＆山歩き部会「甲州街道を歩く　第 5 回」	08:40	東久留米駅改札口
3 月 29 日(木)	映画鑑賞会「欲望という名の電車」	14:00	成美教育文化会館
4 月　2 日(月)	ｳｫｰｷﾝｸﾞ＆山歩き部会「桜の花見」	09:30	清瀬駅北口
4 月　8 日(日)	臨時役員会	16:30	生涯学習センター
4 月 16 日(月)	ｳｫｰｷﾝｸﾞ＆山歩き部会「甲州街道を歩く　第 6 回」	08:00	東久留米駅改札口
4 月 22 日(日)	東久留米稲門会第 24 回定時総会	14:00	成美教育文化会館
4 月 24 日(火)	ゴルフ部会「春季コンペ」		玉村ゴルフ場
5 月 13 日(日)～14 日(月)	旅行同好会「福島県母畑温泉」	07:15	東久留米市役所前
5 月 21 日(月)	ｳｫｰｷﾝｸﾞ＆山歩き部会「甲州街道を歩く　第 7 回」	＜詳細未定＞	
5 月 29 日(火)	ゴルフ部会「三田会との合同コンペ」		越生ゴルフクラブ

【大学・校友会関係】

4 月　6 日(金)	稲門祭（10 月 21 日開催）実行委員会	18:30	井深記念講堂

＜各部会定例活動一覧＞

部 会	3 月				4 月			
	日	曜	時間	場所	日	曜	時間	場所
女性サークル	8	木	10:00~	中央町地区ｾﾝﾀｰ	12	木	10:00～読書会	中央町地区ｾﾝﾀｰ
囲 碁	25	日	13:00~	成美教育文化会館	22	日	13:00~	成美教育文化会館
俳 句	18	日	13:00~	生涯学習センター	15	日	13:00~	生涯学習センター
書 道	11	日	13:00~	生涯学習センター	8	日	13:00~	生涯学習センター
太極拳	10	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	7	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	17	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	14	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	24	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	21	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	31	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	—		—	—
バドミントン	毎週金		10:30~	東久留米ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ	毎週金		10:30~	東久留米ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ

会の報告

◎東久留米稲門会新年会の報告

恒例の新年会が、今年は 1 月 27 日の土曜日に総勢 43 名の参加で、午後 2 時から成美教育文化会館 3 階にて開催されました。例年は毎回日曜日の開催だったため、出席者の中には多少の戸惑いがあった方もいらっしゃったようですが、高橋会長の年頭の挨拶でスタート。乾杯のご発声は、平山元会長が務められました。全員で元気よく「カンパイッ」と唱和し、立食の宴会が和やかに始まりました。

高橋会長のあいさつで新年会スタート

乾杯のご発声は平山元会長

例年のようにお酒の差し入れも集まり、いつしかその瓶も空いて・・・。壁には書道部会長の武藤先生による「鶴壽、亀壽」のおめでたい書が展示され、例年になく新年らしい晴れやかな雰囲気となりました。また、今回新年会初参加の三浦洋子さんが紹介され、ご挨拶をいただきました。すでに部会ではご活躍中ですが、会全体の公式行事には初参加とのことです。

その後、別処さん、片平さんに、初参加の三浦さんにも初

初参加の三浦洋子さん

中締めは安次峰前会長

仕事としてお手伝いいただき、今年もビンゴゲームが行われました。会員持ち寄りの賞品に加え、今年は1等賞～3等賞まで「商品券」が用意され大いに盛り上がりました。

宴たけなわのところで、安次峰前会長による中締めの挨拶となり、続いて、恒例の大矢事務局長によるリード、大島会員のハーモニカ伴奏による校歌斉唱、エール交換と続き、無事お開きとなりました。

小山田朋樹 記

校旗、そしておめでたい「鶴壽、亀寿」の書を背に、恒例の大島さん演奏、大矢さんリードで校歌斉唱とエール

＜出席者(敬称略・50音順)＞　安次峰暁、鮎貝盛和、有賀千歳、安藤信雄、池田信一、井坂宏、泉信吾、上原徹也、上田芳裕、大島勝典、大矢真弘、小野泰右、小山田朋樹、梶井琢太、片平るみ、苅草正守、久家政裕、小牧完次、後藤秀作、酒井正敬、佐藤一郎、清水正弘、高橋哲男、高柳康夫、辰巳徳蔵、橘優治、東海俊孝、中村敏明、長谷山勝美、比護喜一郎、菱山房子、平山正徑、別処尚志、帆角信美、松崎博、三浦洋子、武藤豊、村上万里、村野建彦、山口謙二、横田治彦、米光慶二郎、渡辺真司

(以上43名)

◎役員会報告　平成29年度第5回役員会が2月4日(日)16時より生涯学習センターで開催された。

＜議事録概要＞

1．大学・校友会・近隣稲門会・三田会関係：各担当者より、以下の報告があった。

（1）1月21日(土)練馬稲門会主催新春コンサート・・・小野

（2）2月17日(土)三多摩幹事長・事務局長会議・・・・大矢

（3）3月 3日(土)春季代議員会・・・・・・・・・・・小山田・山口

（4）平成30年度稲門祭実行委員の選出の件

校友会本部より、平成30年度の稲門祭委員選出の依頼があり、山口・中村両幹事が選出された。

2．部会長と役員の部会運営協議会について

（1）2 月 24 日(土)16 時～　生涯学習センター　学習室 4
目的：稲門会活動の根幹である部会活動の現状を把握し、今後の存続・発展のため開催する。
（2）部会名簿の提出を依頼し、部会に入っていない会員の状況等も調査する。
3．お誕生会再開について：高橋会長より、かつて実施していた「お誕生会」を復活したいとの提案があり、今後、会員の誕生月等の調査等を行い、実施の可否を検討することとした。
4．第 24 回定時総会について（成美教育文化会館、ギャラリー・大研修室）
（1）定時総会・文化講演会について：4 月 22 日(日)　講演会には市民の方々も参加することを勘案し、総会と講演会の順番を変更することとした。
講演会：14 時～15 時 30 分、総会：15 時 40 分～16 時 30 分、懇親会：16 時 45 分～18 時 30 分
（2）文化講演会：司会＝長束、講演者＝八重樫幸雄氏、演題＝「未定」
①少年野球教室は市の連盟の都合で中止となった。②東久留米市報への手配
（3）定時総会：司会＝村野副会長、議長＝高橋会長
議題　①平成 29 年度事業報告＝大矢、　②平成 29 年度収支報告＝清水、
③平成 29 年度監査報告＝吉川、　④平成 30 年度事業計画＝大矢、
⑤平成 30 年度収支計画＝清水、
（4）懇親会：　16:45～18:30　司会＝大矢、
（5）総会案内印刷及び袋詰め作業　3 月 7 日(水)18：00～20：00
＊会員以外の市内校友への案内は、50 代～70 代の卒業生とする。
（6）臨時役員会：　4 月 8 日(日)16：00　生涯学習センター（予定）
（7）総会資料印刷　4 月 15 日(日)16：00（予定）
5．会計報告（30/1 月末現在）：清水会計担当より、1 月末現在の科目別収支実績報告が資料に基づき行われ、執行部との次年度予算打合せを 3 月中旬に行うこととした。
6．広報関係（1）東稲ニュース：小山田編集責任者より、東稲ニュース 99 号の編集案概要の報告の後、東稲ニュース 100 号記念号の企画について提案があり、原案通り承認された。
7．その他：高橋会長より、「FM ひがしくるめ」開局の報告があり、後援として「東久留米稲門会」の名称を使用する件と、東稲ニュースに株主募集等のお知らせを掲載することが承認された。
次回役員会について：4 月 8 日(日)16 時　生涯学習センター「学習室 5」（予定）にて

◎ 2 月 17 日(土)　東京三多摩支部　幹事長・事務局長連絡会議の報告

東京三多摩支部幹事長・事務局長連絡会議が 2018 年 2 月 17 日(土)に行われた。今年度は西東京稲門会と小平稲門会が当番で、2017 年度の活動報告と大学校友会からの校友会費納入促進等の依頼があった。また、次年度稲門祭への協力依頼と共に各稲門会総会の日程が報告された。　大矢 真弘 記

◎ 2 月 24 日(土)　部会長と役員の協議会

平成３０年２月 24 日（土）16 時～17 時 40 分に部会長と役員の協議会が開催された。主旨は、部会活動の現状を把握し、部会の維持、活性化を図ること。出席者は武藤、苅草、米光、井坂、藍原、橘、東海、渡辺の各部会長(高柳部会長はメールにて参加)、及び高橋、村野、山岡、清水、河村、横田、別処、金子、山口、片平、吉川、大矢の各役員

議題は、部活動の現状、部活動の問題点、役員会として可能な対応等で、全体的問題点は、部員の高齢化、固定化、若い人が集まらないことであった。

役員の部活動への参加、現役の校友に対する職務体験の講演や、書道部と俳句等の部活動の連携等が提案された。各部会の会員名簿を事務局へ提出し、5 月以降に部活動未加入の会員に部活動へ加入依頼する。また、問題点については役員会で検討することで終了した。

各部会長からのメッセージは以下にて　高橋 哲男 記

会員・校友の皆様へ各部会長.からのメッセージ

部　会　名	活動状況及びメッセージ
女性	月に１回の読書会、年２～３回のランチ会や散策 読書会は、女性会員の皆様気楽にご参加ください。
ゴルフ	三田会と春秋のゴルフ会２回、稲門会だけで２回 会員以外の校友の参加を歓迎します。
囲碁	月に１回第４日曜日、年１回の合宿、早大の春の大会団体戦、個人戦、12 月大学から指名の早慶戦、東久留米は強豪、部員は西東京含めて 20 名
俳句	月１回句会第３日曜日 13 時～15 時 30 分　年会費 2,000 円　俳句のタネは、あなたの周りに沢山あります。季語と組み合わせて俳句を作ってみませんか。
書道	第 2 日曜日午後 1 時より合同練習会　13 名の部員による書道作品の展示と添削年会費 9,000 円（主に 2 年に一度の大作品展費用）自分の好きな言葉、座右の銘等の文言を書作品にして人生に華を如何ですか
太極拳	毎週土曜日から月３回の土曜日午前に変更、参加費 500 円だが、毎回 1,000 円の赤字、役員も参加してほしいとの意見もある。
グルメ	年１回 20 人ほどの参加で、5000 円程度の昼食会をしています。お酒もたっぷり飲めます
郷土研究	郷土資料室の学芸員と相談して、勉強会や探訪会を年１回程度実施する方針です
ウォーキング＆山歩き	従来のｳｫｰｷﾝｸﾞ＆山歩き：5 回／年程度名所旧跡、ハイキングを歩く。 会員の希望に沿って行く先に反映します。 番外編（甲州街道を歩く）：各月１回 中旬の月曜日に旧甲州街道を順次歩く。
カラオケ	毎年７月、12 月の２回開催、直近３回の参加者は各 16 名。年２回では少ないので年４回程度の要望が多く、その実施を検討している。
春秋早慶戦観戦	春秋の早慶戦観戦各１日 参加者は数名であり奮って参加をお待ちしております。
ラクビー観戦	対抗戦：筑波、帝京、慶応、明治の応援観戦、大学選手権： 東海との応援観戦　3 月 11 日奥克彦記念試合オクスフォードに行ってきます。
諸芸術鑑賞	練馬稲門会主催新春早稲オケコンサートが中心で今年は約 40 名が参加。他の企画も検討中。
旅行	年２回春秋のバス旅行（一泊）、参加者集めが課題、今回は母畑温泉八幡館に宿泊、この旅館は平成 28 年度プロが推進する旅館で、和倉の加賀屋温泉をぬき第一位、是非泊まってみませんか。
バドミントン.	設立 10 カ月で毎週金曜日の練習 15 名の会員のうち 12～13 名が参加している。会費は 160 円であるが、シャトル代がかかる。コートの確保に工夫が必要。
映画鑑賞	既に 16 年の歴史があり上映作品は 55 本を超え、市民に愛され毎回 350 名前後の参加者が集まる。高齢の女性が多い。アメリカ映画が中心。担当者は高齢であり、若手に引き継ぎたい。

部会報告

＜書道部会＞　「新年会」　1 月 14 日、於：成美教育文化会館

鶴は千年、亀は万年といわれ大変縁起のよいフレーズです、今や人生 100 年時代が呼ばれるこの頃です、その鶴や亀にあやかって 100 歳に挑む思いから“鶴壽・亀壽”と大看板を書初めとして掲げました。新年会の書道部の書初めの題は「鶴と亀」でしたが各自が創意工夫を凝らして面白い鶴亀の書作品の数々が和室の大広間に出揃い正月らしい雰囲気を醸し出しました。

新年会＝成美教育文化会館和室大広間にて

書道部は昨年 20 周年を迎え記念作品展を開催しました。稲門会からは沢山の皆様がご来駕頂きましたことをこの紙面を借りて厚く御礼申し上げます。書道部は毎月第 2 日曜日、生涯学習センターで練習しております。

“書の輝きは星の如く、書は花の中、夢の中、”で美しく、・・・てな調子で雅美豊かで整斉美溢れる芸術的な書・・を期待したいのですが、当書道部会は書の上手下

「きかん」行動や判断の基準となるもの、手本、模範。　（書・武藤豊翠）

「かくじゅせんざい」長寿、長命のこと。（書・武藤豊翠）

手を気にすることなく書を趣味に持つ同窓の友が心を和らげ、共に寛ぎながら書に馴染み、書を愉しむ雰囲気をモットーとしており、併せて稲門会の文化活動の一翼を担うことが出来ればと、部員一同元気で笑顔で、和気藹々に筆を走らせているのが実状です。

空海(弘法大師)は「書は散なり」と言っています、即ち胸にわだかまる物を発散させ万象に書勢を込めることだそうです。書道部員は月一度の書の練習ですが僅かな時間でもこの空海の気持ちになり静かに心を落ち着かせる雰囲気を楽しんでいます。

今年は前会長の安次峰さんが入部されました、新しい墨友として一緒に書を愉しんで行きたく思っています、稲門会の皆様、安次峰さんに引き続き書道にほんの少しでも興味のある方は是非入部して頂き自分の“座右の銘”を書作品にして人生に華を添えませんか、併せて稲門会の文化活動の一翼を担うよう愉しく書道をして頂ければ嬉しく思います、どうぞ気軽に書道部を覗いて下さる様宜しくお願いします。

武藤 豊 記

＜バドミントン部会＞　部内大会開催

1 月 19 日私たちは初めて部内大会を行いました。ルールは参加者のダブルス総当り、ペアを 1 回づつ入れ替えての得点の合計を競います。21 点先取、若しくは 10 分経過時点での得失点で試合終了となります。13 名の参加中、有賀さんが風邪気味のため全体進行と時計の管理役。

対戦表に則り愈々試合開始。5 試合終了して昼食。午後からは 15 点先取に変更してスタート。理由は、疲れたから！！　12 名の総当りですから残り 6 試合のところ 5 試合にて打ち切り、得点計算。結果中澤コーチが満点での 180P でトップなるも入賞辞退。結果金メダルは 171P の片平(邦)さん、銀メダルが 166P の私、銅メダルは 157P で渡辺部会長でした。女性トップは渡辺春子さん、片平さん、松崎さんと続きます。参加者東海、安次峰、坂井、森野、大島（敬称略）それぞれ商品をいただき無事初大会を終りました。IRS から派生したバドミントンは、部会に昇格して 1 年あまり、毎週できる、続ける, and コーチの指導で全員の進化が感じられるまでに成長？しています。

バドミントン部内大会　金　銀　銅　　気分はオリンピック

中村 敏明 記

＜諸芸術鑑賞部会＞　「第 12 回　練馬稲門会ニューイヤーコンサート 2018」1 月 20 日

早稲田大学交響楽団によるニューイヤーコンサートが 1 月 20 日練馬文化センターにて開催されました。昨年 10 月、今までお世話になった菱山さんより引き継いで、諸芸術鑑賞会の部会長をやらせていただきました。初めての幹事役で何も分からない事ばかりでしたが、菱山さんのこれまでの資料があり、スムーズにやることができました。

今回は41名の東久留米稲門会の会員及びご家族ご友人の参加となりました。当日はワセオケに、藤原歌劇団のソプラノ、二期会のソプラノ、テノールのプロ3名が加わり、オペラの歌曲が添えられ、チケットも完売し、大変賑やかなニューイヤーのコンコンサートでした。

初めての鑑賞でしたが、この内容なら来年も参加したいと思い、リピーターが多い事に納得しました。

小野 泰右 記

＜ウォーキング＆山歩き部会＞　甲州街道を歩く　第4回(H30.2.19)　与瀬(相模湖駅)～上野原

大雪の為、当初1月22日に予定した小仏峠越えが中止を余儀なくされた上、1ケ月後でも尚積雪が残る状況を踏まえて、春までこの山越え区間のウォーキング゛を先送りし、与瀬から上野原を目指すことにした。総勢12名(男7、女5)で中央本線相模湖駅を 10時半過ぎに出発、日差しはあったものの、道路端の気温表示は7度。歩いていると少し汗ばみ、立ち止まると風が冷たく感じるが、厳冬期としては恵まれたウォーキング日和であった。

与瀬の慈眼時門前

諏訪関跡　境川橋近傍

ガイドブックの地図では、国道20 号線(現甲州街道)を跨いで行ったり来たりで、旧街道は現在の道路より距離がかなり長いことは予想通りであったが、現実に旧街道を辿ると想定外のことに出くわした。先ず、アップダウンがきつかったこと。現在の 20 号線が、橋や切通し、トンネルでなだらかにされていることが良く分かると同時に、往事街道を通った人々の歩行は困難さを伴っていたことが痛感された。島崎藤村の「木曽路は全て山の中である」ではないが、甲斐路も、森林ではないものの、全て山の中であると言

いたいくらいの山道で、登って下ってまた登るという道には参ったと言わざるを得なかった。自動車道路マップから勝手に想像していた「楽な歩み」の思いは打ち砕かれ、歩き終わってみると、今回は総歩行距離 12 km程度で、これまでの全 3 回のウォーキングに比べて 4 km以上短いにも拘わらず、最も負荷が高かったという印象である。次に、旧街道の道筋に分かり難いところがかなりあり、道探しに余分な時間を要した。20 号線という目印があるので行く先を失うというようなことはなかったが、行き過ぎて戻ったり、先遣隊を出して道を探ったりは 2 度 3 度でなかった。ガイドブックもこうした事柄にきめ細かく対応出来ていなく、あれやこれやで、当初計画では 2 時半頃の上野原駅終着の予定が、1 時間遅れとなった。東久留米に帰着後、男性陣で恒例の打ち上げを行い、解散。　　東海 俊孝 記

＜俳句部会＞

第 210 会　1 月 21 日　　生涯学習センター
兼題　初空　若水

[高点句]

一人居を気遣う友の初電話	比護喜一郎
聖堂のともし火淡く冬の坂	神田尚計
初孫をまあるく抱いて女正月	川俣栄一

[自薦一句]

初空や何か大きな忘れもの	杉本達夫
他の星に人生有りや初御空	馬場清彦
呆け除けに賽銭はずみ福詣り	大久保泰司
若水や五臓六腑に浸み渡り	三浦洋子
寒波来る野菜高騰厨約(つま)しく	橘優治
寒菊や白髪と皺のクラス会	川島知子
梯子乗り諸手一杯拡げおり	安宅武一
若水や月を砕きて汲みにけり	片平るみ

第 211 会　2 月 18 日　　生涯学習センター
兼題　春時雨　梅が香

[高点句]

機嫌良し妻が冬菜を刻む音	川俣栄一
梅が香に足の向くまま奥の院	比護喜一郎
春時雨老いの下げゆくレジ袋	杉本達夫
六地蔵春の時雨の赤頭巾	橘優治
竹林に音の吸われて春時雨	川島知子
旅立ちを見送る吾に春時雨	三浦洋子
笑い声残し濡れゆく春時雨	馬場清彦
下校児の家路遅らす凍り路	馬場清彦

片平 るみ 記

部会だより

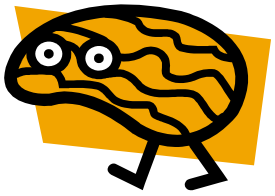
＜映画鑑賞会＞　　3 月 29 日（木）14:00 開演　於：成美教育文化会館
『欲望という名の電車』　1951 年　アメリカ　エリア・カザン監督
前号既報　(同封のチラシ参照)

＜ウォーキング＆山歩き部会＞

ウォーキング第 65 回

清瀬せせらぎ公園のカタクリ、柳瀬川の台田運動公園の桜を愛でる

日時：4 月 2 日(月)　集合 9:30　　清瀬駅北口の出入り口
＊雨天の場合、翌日に順延



ウォーキング番外篇　甲州街道を歩く

第 5 回【小仏峠越え（小仏から与瀬（相模湖））】　7.7 km
日時：3 月 19 日(月)　8:40 東久留米駅改札口集合　高尾からバスで小仏（登山口）へ
悪天候の場合、1 週間後の 26 日(月)に延期　　昼食：弁当持参。腰を下ろすためのシート持参。

第６回【上野原から鳥沢駅／猿橋駅】
　14.1 ㎞／猿橋の場合：18.2 ㎞　☆目的地は追って決める
　日時：4 月 16 日(月)　8:00　東久留米駅改札口集合
第７回【鳥沢駅／猿橋、大月を経て初狩/笹子】
　12.8 ㎞／最長の場合：18.7 ㎞⇦笹子ｽﾀｰﾄの下りとする
　日時：5 月 21 日(月)　東久留米駅改札口集合　　東海 俊孝 記

＜ゴルフ部会＞　4 月 24 日(火)「春季コンペ」玉村ゴルフ場

１．日にち：平成 30 年 4 月 24 日(火)
２．コース：玉村ゴルフ場（群馬県）
３．プレイ費　(セルフ昼食込)：6,800 円
　＊65 歳以上は税金が安くなるので証明できるもの持参下さい。
４．参加費(商品代他)：2,000 円
５．連絡先：ゴルフ部会幹事　金子孝司　携帯：090-2626－3506　e-mail：cgm.knk@gmail.com
６．申し込み締め切り：3 月 31 日
　＊東久留米稲門会に入会されていない校友の参加も歓迎です。　　金子 孝司 記

＜旅行同好会＞　5 月 13 日(日)～14 日(月)
プロが推薦する母畑温泉「八幡館」に泊まるバスの旅

　13 回目となる稲門会旅行同好会の旅行は、旅のプロが決めた平成28年度の旅館第一位となった母畑温泉の「八幡館」に泊まる旅としました。旅館と言えば和倉温泉の加賀屋が有名ですが、旅行のプロが加賀屋を抜いて第一位に押した宿とはどんな宿かと非常に興味があります。
　母畑温泉は福島県東部にある温泉で、古くから湯治に利用されていた温泉です。比較的近いので、1 日目は今市から那須を抜けて昼食は牧場でジンギスカンを楽しみ、白河の関に立ち寄って宿に行きます。
　2 日目はあぶくま洞を見学し、いわきで昼食と買い物をして早い時間の帰着としています。
　バスは 1 時間おきくらいに休憩しながら行きますので、どなたでも参加できます。
　初めての方も一度参加されてみてはいかがですか。
■日　程：平成 30 年 5 月 13 日(日)～14 日(月)
■集　合：平成 30 年 5 月 13 日(日)　午前 7 時 15 分　　東久留米市役所前
■行　程：5 月 13 日(日)
　東久留米市役所 7:30＝8:10 和光＝外環・東北道＝9:00 佐野ＳＡ9:15＝宇都宮＝10:00 今市＝日塩もみじライン＝11:00 白滝ドライブイン 11:15＝12:20 千本松牧場(昼食ジンギスカン)＝14:45 白河小峰城 15:30＝白河の関＝17:00 福島母畑温泉「八幡館」
　　5 月 14 日(月)
　母畑温泉 9:00＝9:50 あぶくま洞見学 10:50＝いわき・ら・らミュウ（昼食 海鮮定食）13:30＝13:50 いわき勿来ＩＣ＝常磐道＝14:45 友部ＳＡ15:00＝16:10 和光ＩＣ＝16:50 東久留米駅
　　＊コースは変更される場合があります。（バス代調整中のため）
■会　費：37,000 円
　＊参加希望者は、井坂　宏　042-477-1632　email：isk-h112226@globe.ocn.ne.jp
　　または、平山正徑　042-473-3289　email：mx3hirayama@m8.dion.ne.jp
　　までご連絡下さい。(所要人数になり次第締め切らせて頂きます。)　　井坂　宏 記

東稲広報室

＜「東稲ニュース」次号は 100 号＞

「東稲ニュース」は、2001 年(平成 13 年)9 月に創刊号が刊行されてから 17 年目で、めでたく 100 号を迎えることになります。記念のオールカラー特大号を予定しています。そのため、通常より刊行が若干遅れ、5 月中旬のお届けとなる予定です。どうかご期待ください！

＜新年会(1 月 27 日開催) 特別会計収支報告＞

〔収入〕新年会会費（43 名）… 129,000 円　〔支出〕・飲食費… 129,092 円　・会場費(什器・備品含む)など… 9,200 円　・その他…10,336 円　【収 - 支】…▲19,628 円　※不足額は本会計「イベント補助金」から補填しました。

会計担当 清水 正弘

＜会員出版物紹介＞

当会の会員で早稲田大学名誉教授の栄田卓弘さんが、昨年 12 月 25 日に本を出版されました。

「ヨーロッパ、日本歌紀行」　彩流社　183 頁　￥1,800(本体価格)

栄田先生は西洋史がご専門で、イギリス史の本等は多数出版されていますが、今回はヨーロッパ遊学時の紀行文と、折に触れての短歌を綴った本です。専門のヨーロッパの歴史と、趣味の短歌、加えて音楽の造詣にも深い事が窺える本となっています。

＜年会費 3,000 円―手数料無料のお支払方法＞

お手持ちの郵便貯金通帳から郵貯ＡＴＭで送金(振替)すれば、送金手数料は(月 3 回まで)無料です！［郵便局の窓口から送金なら￥130 必要です］

◆「郵便貯金通帳」をお持ちでしたら、①同封の「払込取扱票口座」へ、または②「東久留米稲門会貯金通帳」へ、ＡＴＭの操作画面にしたがって送金(振替)してください。

①払込取扱票振替口座【口座記号】00100-6【口座番号】11607【加入者名】東久留米稲門会

②通常貯金通帳口座番号【店名】〇〇八【店番】008【預金種目】普通貯金【口座番号】2328684

＜「ＦＭひがしくるめ」　開局について＞

私たちの町東久留米に、コミュニティＦＭ局がこの初夏、開局することになりました。放送スタジオは、おなじみの成美教育文化会館 1 階に置かれるそうです。運営主体は(株)クルメディア、ＮＰＯ法人からスタートした東久留米の会社です。＜http://www.fm-higashikurume.com＞

地域 FM は、地域密着型のラジオ局で、全国の市町村単位で開局されており、武蔵野市やお隣の西東京市にもあります。運営主体は各放送局で様々ですが、地域情報を中心に日ごろの暮らしに寄り添った情報が放送され、災害時には身近で切実な情報源となることが、災害に見舞われた各地で実証されています。FM ラジオの他、スマホでも聞くことができ、各自治会の情報も流す予定とのこと。

このように公益性の高い事業であることから、東久留米市も災害協定等を締結予定であり、(株)クルメディアからの要請もあって、東久留米稲門会として「後援」することにしました。具体的に運営にどう係われるかはこれからの課題ですが、会として応援していきたいと思います。

現在開局に向けて最終段階の「ＦＭひがしくるめ」では、サポーターとして市民の株主を一株 5 万円で募集中とのこと。詳しくは(株)クルメディア（050-6869-3717）までお問い合わせください。

〈会員リレーエッセイ〉　*～噴水広場～*

アマゾン駐在記

金子孝司（49 年　理工）

機内アナウンスで目が覚め、窓より外を見ると下方には一面ジャングルが広がり、間を縫うように川が流れている。ひと際大きな川が見える、これがあのアマゾン川なんだろう。思えば日本の家を出てから 40 時間になろうとしている。まもなくマナウス空港に着陸する。気温は 35 度、湿度も高く真夏の日本のようである。これが一年中続くのである。真っ黒に日焼けした駐在員が迎えに来てくれていた。これからアマゾンでの駐在生活が始まる。（1995 年～2000 年）

若干、マナウスについて紹介します。マナウスはブラジルアマゾナス州の州都で赤道直下にあり有名なアマゾン川流域に位置している。高温多湿の気候で乾季、雨季がありアマゾン川の水位の増減が大きく水位差は 16mに達する。その為、港は浮きドックとなっている。19 世紀に天然ゴムやコーヒー豆の集積地として開かれ、アマゾン内部の経済、交通の要衝都市として繁栄した。それらが寂れた後 1967 年に経済特区に指定され、各国の企業の工場が進出していて日本からも大きなところではホンダ、ヤマハの二輪車メーカー、ソニー、パナソニック等の家電メーカーの工場も進出している。2014 年にはサッカーワールドカップの会場にもなった。

一日目の夜、時差ぼけと暑さで寝付けなくうとうとしていると、何か足の上を這うものがいる。あわてて飛び起きると、なんとカブトムシくらいの大きさのゴキブリがいるではないか、眠気も吹っ飛び一晩中起きていた。いきなりアマゾンの洗礼を受け、先の駐在生活を案じることとなった。早朝暗いうちから外で音がする。覗いてみると道路掃除をしている。これが毎日の事、聞くと道路に平気でごみを捨てる習慣、ただこれがひとつの雇用を生んでいるので大切な事だそうだ。中国も同じだったな。

スーパーでの出来事、ビールを買いに行きかごにビンビールを数本いれてレジに行ったが売ってくれない、言葉もわからないで困っていると店員が缶ビールを持ってきてこれにしなさいという感じ、何とか買えた。駐在員に聞くとビンを持っていかないと売ってくれないとの事だった。同じく肉を買ったときの事、「300ｇください」と言ったがこれも通じない。向こうは部位を丸ごと買うそうで、店員は小さそうなものをひとつもってきてくれた。又、スーパーの一段高い所に小銃を抱えたガードマンが警備している。強盗対策の様だ、物騒なところに来たもんだ。

出社する。工場はジャングルを切り開いた工場団地の一角にありイグアナが散歩していた。従業員は大半が原住民の子孫だろう、顔は日本人に似ていて違和感はない。さすがにラテン系で性格は明るく初めて会った私に「ボンジーア（こんにちわ)」と皆が挨拶してくれる。こんなところで時計の組み立てなんかできるのかと思っていたが、意外に器用に真剣にやっていたことは驚きだった。

遊びはゴルフと酒と釣りだった。ゴルフはジャングルを切り開いた 9 ホールのコースで何がいるかわからない。池には電気なまずがいたし、近くで 6mのアナコンダが捕獲されたこともある。藪にボールが入ったら毒蛇がいるので、手で探さないでクラブで探せと言われ、もし一回噛まれたら何回噛まれても同じだから必ずその蛇をつかまえてすぐ病院に持っていく事、蛇の種類によりうつ血清の種類が違うという。そんなゴルフ場だが家から 10 分のところにあり、午前中で終わるので帰って家族サービスもできた。100 ラウンド／年くらいラウンドした。そんなにゴルフができて良いね。と言われるが他に遊びがないのである。料金も￥2000 円程度だったと思う。駐在員と日系人の交流の場であった。

次は釣りだがアマゾン川支流をせきとめた発電所のダムに良く行った。ダムと言ってもスケールが大きい、雨季には水量が増し面積は四国ぐらいあるとの事、釣る魚はツクナレというバスの仲間である。通常 30ｃｍ～40ｃｍだが大きいものは 60ｃｍくらいのものがある。なにしろファイトがすごく釣り上

げるのが楽しかった。我が家の食卓にものったが、ほとんどはアパートの管理人等にあげて喜ばれた。これに交じって黒ピラニアという30ｃｍくらいのものがあがる。これは危ないので船頭にはずしてもらった。家で食べることはなかった。

次に酒だがアマゾン川の流域に屋台があり、そこで地酒のピンガを良く飲んだ。これはサトウキビから作る蒸留酒で40度くらいの強い酒で4～5杯飲むとかなり酔っぱらうが運転して家に帰るのである。良く事故にならなかったと思うところである。それから楽しかったのが駐在員3～4人で船をチャーターしてのアマゾンナイトクルーズ、食事、酒も用意してくれて4～5000円／人くらいだったと思う。真っ暗で星しか見えない中、ところどころ岸辺に灯りがポツンと見える。こんなところに人が住んでいるんだと思いながら、エンジン音が響く船で酒を飲みハンモックで寝て朝帰ってくる。

飲むと言えば珍しいものも食べた。中村メイ子、神津カンナ親娘がマナウスに来訪された時の事、日本人会での歓迎食事会でカピバラの料理がでた。帰ってから動物園で見ることがあったがこんなかわいい物を食ったうしろめたさを感じた。それから亀、天然物は時期の規制があったが、アマゾン川で捕った(密漁)からと酒付きで3000円と秘密の案内がきて食べたこともあった。ピラニア、出張者に食べさせようと釣ってきたものをなじみの日本食屋で塩焼きにしてもらったがこれはまずかった。ピラニアのスープが有名なホテルもあり、それは美味しく食べられた。食べられなかったのがジャングルの木の中にいる虫の幼虫、クリーミーで美味く貴重なたんぱく源らしいがこれはだめだった。

半年遅れて待望の家族(妻、娘二人)が来る。長女は日本人学校、次女は日系の幼稚園に通いだす。日本人学校は小中合わせて生徒数15人程度で先生が5人でマンツーマン授業だった。特徴的だったのは暑いので水泳の授業が多く毎月記録会が行われ、全員が泳げるようになっていた。子ども達は毎日弁当持参だったが、日本の様に食材がないので、毎日の弁当作りに妻は苦労し必ず卵焼きがあったようだ。これで娘たちは卵焼きが嫌いになったようだ。駐在員仲間の家族でアマゾン川で良く遊んだ。最初はピラニアに噛まれたらと思ったが、普通はピラニアが逃げて寄ってこないとのことだった。楽しみが少ないしお金を使うこともないので、長期の休みのたびに旅行に出かけた。印象に残る旅行は赤道を越えてギアナ国境までの往復1000ｋｍのドライブ、ジャングルを切り開いたまっすぐの道をひたすら運転した。途中、テレビなどでも見る原住民族の保護区があり夜は通行禁止になっていて、過去に入り殺された一般人がいたとの事、ここで車が故障したらなどの不安も感じながらの旅だった。赤道には黄色い線が引いてあり、モニュメントにホッケーのスティックの大きなものがあった。なぜかは不明だが。それと感動したのは三大瀑布のひとつと言われるイグアスの滝への旅行だった。これはアルゼンチンとの国境にあり滝幅4ｋｍ、高さ80mで豊富な水量の迫力には圧倒された。ナイアガラの滝も見たが比べものにならない。他にもマイアミ、ニューヨーク、バハマ、ベネズエラ、キーウェスト、ギアナ高地など良く出かけた。妻曰く「あの時が当家のバブル時代だったね」。もう一度アマゾンに行きたいと思うが何しろ日本からは地球の反対側、暇と金もかかるので実現していない。せめて東京にあるブラジルレストランでシュラスコを食べ、ピンガを飲んでブラジルを思い出している。

＜編集後記＞

校友会代議員会のため大隈講堂に行ってきた。入試も終わり春休みのワセダは、初夏のような陽光のなか学生の姿も少なく、桜花の咲く前の落ち着いた最高学府らしい雰囲気。40数年前の、立て看板に勇ましい文字が踊り、バリケードにヘルメットが当たり前だったあの暗くよどんだ風景はどこへ・・。

いよいよ次号は100号。20年史で確認すると、2001年(平成13年) 9月の創刊号から、8号と9号の間が3か月、21号と22号の間が4か月開いている以外ずっと隔月で刊行。2013年(平成25年)5月の70号から携わり、94号からは別処さんから編集責任者を引き継いでいる。次号では、これまでの発行責任者や編集担当をなさった先輩方にお願いして、創刊からの思い出話や苦労話等の記事を掲載したい。また101号以降への要望や意見も広く会員の皆様から頂きたい。投稿をお待ちしています。(朋)